



会長 菅原 慶一
 幹事 小野寺 伸浩
 会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2671回例会 2018. 11. 22 No.20

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・山田正副会長 古川RCの門脇政幸会員を歓迎して。若手のホープ佐々木淳会員のスピーチに期待。
- ・新妻俊一様（佐沼郵便局長）「地域の子供は私たちが守ります作戦」スポンサー募集中！ ご支援よろしくお願いたします。
- ・後藤達也様（佐沼郵便局）今回も都合をつけて参加させていただきましました。宜しくお願致します。
- ・佐々木淳会員 本日は、太田陽平会員の代理でスピーチをします。よろしくお願致します。
- ・布施孝之会員 佐々木淳会員のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 スピーチ担当の太田陽平会員は、名の如く太陽が一杯の感じですね。代理のスピーカー佐々木淳会員のスピーチ楽しみにしています。
- ・江川元徳会員 今日11月22日はThanks giving（感恩）。皆さんに感恩！感謝！
- ・菅野幸一郎会員 佐々木淳会員のスピーチに、ご期待致します。
- ・菅原文之会員 佐々木淳会員のスピーチを期待して。
- ・佐藤静市会員 佐々木淳会員のスピーチ、歓迎いたします。
- ・猪股育夫会員 佐々木淳会員のスピーチに期待して。本日早退します。
- ・布施孝尚会員 昨日は佐沼ロータリークラブ・ダンシングチームで「みんなの家・錦織」へ慰問に行ってきた。ご参加いただいたメンバーの皆さん、ありがとうございました。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。佐々木崇会員 八谷郁夫会員 氏家良典会員

山田直志会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 及川昭宏会員 千葉正宏会員
 伊藤幸子会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正副会長

本日は菅原慶一会長が欠席のため、会長要件を代行させていただきます。
 先週11月16日(金)、千葉正宏国際奉仕委員長を中心に「ハンブルグ国際大会」参加の打ち合わせが行われ、高橋利光前会長のもと、順調にスタートした様であります。
 又、11月10日(土)には、ハンブルグ国際大会にも一部関連した内容で、第2520地区会員増強セミナーがあり、佐沼RCからは私1名が参加いたしました。
 研修では清月記の菅原裕典パストガバナーが、R I 第1ゾーン、コーディネーター補佐として進行を務め「120万人規模の国際大会への参加は、ロータリアン一人一人がその渦中の一員として、ステータスの高さ多くの学びを得ることで、活動意義が大いに高められる。」と述べ、国際大会への参加を要請しておりました。続けて「我々の時代、ロータリーの入会自体、敷居が高く1つのステータスであった」と述べ「ロータリアンの奉仕活動は、誇りと高潔さが伴ってこそ、活動が活きてくる」とも述べておりました。
 会員増強活動では、隣人に対し「あなたはロータリーへ入会すべき貴重な存在で有る」と言うことを「繰り返し、繰り返し熱意を持って訴え続け！」結果「たまにはお茶でもどうですか？」と相手がこちらを向くまで、アクションを起し続けることが大切であり、場合によっては、誰かが「嫌われ役」を演じねばならないなど、多くの事例が盛り込まれた研修でした。
 今回の研修では、会員増強計画の長期的立案の必要性を強く感じて帰路につきました。また、資料を記録

したフラッシュメモリが会場で配布されましたので、活用できればと考えております。
 さて、年末の一大イベントであります、クリスマス例会が12月20日(土)と近づきました。参加申込締切りは12月10日(月)となっております。加藤亮親陸委員長はじめ、委員のみなさん方が新たな企画で準備に頑張っております。大勢の会員、ご家族皆様のご参加とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・鎌田暖さん（長期交換留学生）から、近況報告の手紙が届く。
- ・登米市社会福祉協議会より 第50回在宅心身障害児者クリスマス会の案内 日時 12月16日(日) 10:00~ 場所 ホテルニューグランヴィア

各委員会報告

- ・交換留学生特別委員会（高橋利光委員長） 鎌田暖さんから手紙が来ました。色々事情があり、学校そしてホストファミリーが変わりましたが、とても頑張って留学生活を送っております。今後とも支援をしていきたいと思います。
- ・社会奉仕委員会（布施孝尚委員長） 昨日、高橋利光団長を先頭に「みんなの家・錦織」でダンシングチーム9名で慰問活動をして参りました。みなさんに大変よろこんでいただきました。

今週のスピーチ

「何故、葛西家は滅亡したか」 佐々木淳会員
 伊達家が有名なので、皆さんの好きな武将になっておりますが、実はやっぱり葛西氏がもともと治めていた所です。そこを伊達政宗に滅ぼされるという結末になったのです。それをさらっと話したいと思います。
 昔の大名は酒で失敗する人はいなかったようです。織田信長は酒を飲まないのが有名でした。唯一酒飲みだったのは上杉謙信でした。馬上盃といって自分専用の馬に乗っても飲めるような直径20cmほどの大きな盃で、戦場に行っても常に日本酒を飲んでいました。ただ彼の悪いところは、酒好きがこうじて酒だけ飲んで他の物を食べない、常に酒だけで、たまに口にするのは梅干しだけという非常に不摂生な生活をしてきたために、トイレで倒れて死んだというのが有名な説です。是非、皆様もしっかりと食物を食べながら酒を飲んでいただきたいと思います。
 何故、葛西家が滅亡したかという、皆様もご存知のように大崎葛西一揆がありました。それが発端となったのは豊臣秀吉の天下統一の最後の仕事、北条氏を滅ぼす小田原城攻めです。その時に大名の皆様へ声掛けをして「必ず小田原城に集まりなさい」という号令を発しました。当時、葛西や大崎などこちらの小さな武将に通達が来た、来なかったと色々あったようですが一応そういった号令はかかったようでした。そうして当時の葛西家、戦国時代の末期ですね、その時の葛西家と言うと、まだ日和山に住んでいて隣りの大崎

氏との小競り合いが結構多く、又、葛西氏の自分の家来の裏切などがあり、なかなか落ち着かない状況でした。そういった小田原城攻めの号令が来ていても、自分が行ってしまっただけで席が空いた所に隣りの大崎氏が攻めて来るか分からないと思小田原に行くことをやめたのです。それが発端となってしまったのです。
 葛西氏は、もともと東京から来た一族です。豊島一族の部族で、奥州の藤原征伐の際に源頼朝と一緒にこちらに来て、そのままこちらの方の処理をなささいということで、葛西氏はこちらに残ります。葛西といえますと東京葛西から来ましたので、小田原征伐が始まり、当時、伊達政宗と葛西氏は同盟を結んでおりました。大崎氏の合戦におきましても一緒に戦ったりしました。伊達政宗も小田原征伐に行くか行かないか迷っていましたが、結局、中央の豊臣秀吉に付くべきだと考え、遅参しましたが何とか行きました。その後、参戦しなかった葛西氏は、豊臣秀吉から奥州征伐を発令され、いわゆる奥州仕置の際に担当であった伊達政宗と蒲生氏郷に滅されました。
 葛西氏が奥州征伐で滅んだ後、そこに入ったのが木村親子です。木村氏たちは非常に悪態をたらし、年貢は高く取り、葛西一族、大崎一族の残った武士たちをのけものにしたり、武士としての取り扱いをしなかったりと乱雑に扱った結果、大崎葛西氏が何とかしようとした。その時もまた奥州征伐で担当した伊達政宗が、木村親子を救うということで行きました。その時のことですが、やはり一緒に行っていた蒲生氏郷の方に「実は伊達政宗は大崎葛西家を煽動している」という書を持ってきた者がいて、蒲生氏郷はこれはやばいと思ひ豊臣秀吉にそのことを伝えたのです。そして、豊臣秀吉に言ったということ伊達政宗が聞いて、これはまずい、何とかしなければならぬということ、すかさず木村親子を佐沼城から助け出して、蒲生氏郷に渡して何とか一命をとりとめようとした。しかし、結局は豊臣秀吉から「上洛しなさい」と言われ、伊達政宗は上洛することになりました。その際、結局蒲生氏郷にも及び「伊達政宗は煽動したのは本当です。私は証拠をつかんでいる」と一悶着あり、最終的には例の煽動しているという書状を豊臣秀吉に出した訳です。それを見て秀吉は「これは何じゃ」ということで伊達政宗に渡す訳です。政宗は言い逃れが出来なくなりましたが、それは自分の書いた書状ではない、以前殿様に渡した書状と比べて見て下さいと言った比喩させましたら、違っていたので一命をとりとめましたが、豊臣秀吉は伊達政宗が書いたものと分かっていましたが、敢えて何もせませんでした。結局木村親子を助けたのですが、残党といいますが、まだ佐沼城や寺池城に葛西大崎一族が残っておりましたので、それを全部征伐しなさいと言われ、また政宗は行くことになりました。その際一挙に女・子供・誰からももれることのない様に全員まで殺しにしたと言うことです。
 この様にして葛西家は滅亡しました。最後の大名であった葛西晴信は、佐沼城で自害、または寺池城で自害したという説がありますが、定かではないそうです。